

南青葉だより 陽だまり

第26号 発行日：2025年3月1日 発行：南青葉台自治会 事務局

シリーズ 自治会各部門の活動報告 (その3)

【会館委員会】

会館委員会では主に、会館スケジュールの管理、自治会所有の駐車場貸し出し業務、会館内のコピー機やその他備品の管理を委員長と副委員長 2 名で、会館掃除と会館前花壇の水やりを委員 10 名で受け持ちました。

最初はただ従来のやり方を引き継ぎ、何もわからないままでしたが、実際に動き出すと様々な課題や疑問点が浮き彫りとなりました。

特に問題となったのは会員の高齢化です。委員 12 名のうち半数近くが後期高齢者で、真夏の水やりや会館掃除をお任せするのは難しく、そもそもの業務内容を見直す必要性に迫られました。

検討の末、来年度以降は会館委員の業務から花壇の水やりを外すことにしました。

会館掃除に関しても、何か改善できる余地がないか現在検討中です。

今後も会員の高齢化を鑑み、自治会として会館委員のみならず、班長の負担を少しでも減らす方向で、改善に努めてまいります

【防犯委員会】

委員長以下 6 名で地域の防犯ならびに交通安全に関する活動を担当しています。

- 街路灯、防犯灯の管理
 - ・ 地域を 6 地域に分けて各々担当地域を巡回したり、住民、班長さんからの連絡を受けて、点灯の有無や異常の有無を確認。不備な箇所については委員長が関西電力に連絡して修理をしてもらう。また、ポールの隣接地樹木等により灯の照明範囲に問題ある時は、市や土地所有者に伐採等の処置を依頼する。
- 納涼祭等、自治会が関わるイベント開催時には、主に交通整理や場内警備を担当する。
- 毎月平日の 15 日登校日には、朝の登校時間帯に地域 2 か所で小学校児童の登校を、福祉委員会メンバーと協力しながら指導、見守る。
- 春と秋に交通安全運動期間として、地域内 2 か所に幟と横断幕を設置する。
- 歳末の自治会行事「歳末夜警」では、「火の用心」を主体にした注意喚起の呼びかけを行うが、その準備・設営・運営を担当する。
- 住民・班長からの要請に応じて、必要な回覧・掲示用書類を作成する。
- 河内長野防犯協議会のイベント行事に協力参加。
- 委員長は、河内長野防犯協議会の石仏第 2 支部長として 1～2 か月毎の支部長会に出席し、年に 1～2 回の駅頭等での啓発資料やティッシュの配布に参加。
- 委員長は加賀田中学校区青少年育成会の南青葉台地区長を兼ねており、自治会との連絡業務を行うとともに、1～2 か月毎の運営委員会に出席し、年 3 回位のイベントに参加する。

シリーズ 自治会各部門の活動報告 (その3 つづき)

【デジタル委員会】

デジタル委員会では、以下のことを行っています！

- イベント実施後のHP 投稿
- 公式LINEの配信（回覧板、その他お伝えしたいこと）
- スマホ講座（随時、市役所派遣型も含む）

現在は3名＋広報委員長でそれぞれ対応しており、地域のデジタルの底上げに向かって現役世代を中心に頑張っています！

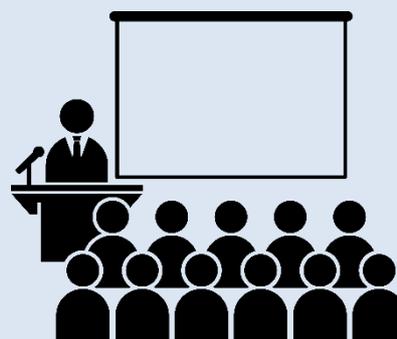
自治会の活動状況と予定

※実績

1月12日	定例役員会
1月13日	成人の日のお祝いをお届け
1月23日	廃品回収
1月30日	ふれあい花壇 イルミネーション撤去
2月 1日	防災講座 C・D・Eグループ (防災委員会)
2月 6日	廃品回収(4月～12月分) 助成金申請
2月 9日	新班長・役員決定会 定例役員会
2月15日	防災講座 F・G・Hグループ (防災委員会)

※予定

3月 1日	防災講座 I・Jグループ (防災委員会)
3月 9日	定例役員会
3月20日	廃品回収
4月12日	福祉委員会総会
4月13日	加賀田青少年育成会総会
4月20日	自治会総会
4月27日	防災委員会総会



編集後記

何年か前の新聞の連載小説では、河内の国加賀田郷を所領とした、大江時親は戦国大名の毛利氏の祖で、楠木正成に日本最初の兵法書『鬪戦経』を解説した、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の一人である大江広元の四男を祖とする人でした。歴史小説の舞台に加賀田の地名が出るのは、なんとなく誇らしい気がします。さて、来月から新年度が始まります。新役員の皆様には、魅力ある地域を目指して、よりよい自治会にさせていただけることを期待します。

歳末夜警 「火の用心！」

2024年歳末夜警は、例年に比べて寒さが少し穏やかな12月26日（木）、自治会館へ老若男女33名が午後7時に集合し、昨年同様4ブロックに分けて行いました。

当初申込書では子ども達が19名集う予定でしたが、コロナに代わって猛威を奮っているインフルエンザのせい、6名が当日急遽不参加となったため、1つのグループは大人だけの巡回になるなど、いささか寂しい面もありましたが、事故もなく全員大きな声を出しての見回り巡回を行うことができました。

なお出発前には道端大阪府会議員に、見回りを終わって皆で温かいスープをいただいている時には西野河内長野市長に、各々激励に立寄っていただきました。

ご参加いただきました子ども達、保護者の皆様、そして応援いただきました福祉委員会、防災委員会及び住民の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。



加賀田地区の民話 第23話

皆さんお久しぶりです。今回は、大矢船北町にあります楠公さん(楠木正成)ゆかりの矢伏の観音をご紹介します。

「ヤブスの観音さん ありゃあ、楠公さんが観心寺にいてはってな、ここの道を通りはってんやて。昔の道は、この下でしてん、田に添うてずうーっとヤブス通って、昔の加賀田道はそれでしてん。ほて、あのヤブスの観音さんの下に道通っててなほんまにせえばい(狭い)道でしてん。ほて、楠公さんがあそこ通って行くときにな、賊が楠公さんを弓で射たちゅてな。それをあの観音さんがその矢を伏せてんやって、ほんで、矢伏となつてんやちゅうてな、それ聞いてますけどな。

「加賀田地区の民話」平成4年刊行市教育委員会発行より抜粋」

これを読んで、観音さん詣りに出かけました。大矢船の交番を左に曲がって15分ほど道なりに行くと左手に小さな祠が見えました。お詣りしたあと案内板を読むと

「矢伏観音由来記 約六百八十年(一三一八)昔の南北朝時代 多聞丸と言う少年が観心寺で修行するかたわら 加賀田村在住の兵法学者大江時親に兵法を学ぶため この山道を通って観音様に学問の成就を祈っていました それを知った敵方はこの少年を殺そうとして観音堂の裏山で待ち伏せしていました。それを知らない多聞丸はいつものようにお祈りをしている その時をねらって 敵は矢を射ました がその瞬間一陣の風でお堂の扉が開いて矢を伏せ 多聞丸は難を逃れました 多聞丸とは南朝後醍醐天皇の為に活躍した楠木正成の幼名です (以下省略)」とありました。いかがですか？散歩がてらお詣りに！



サンタさん、楽しかったよ！

12月21日の土曜日にクリスマス会を開催しました。
今年は37名の参加申し込みがありましたが、風邪引きなどで33名の参加となりました。

子供たちはみんな元気いっぱい、会が始まるのを待ちきれずに輪投げやお手玉ボード、ドレミマットなどの遊具あそびに興じていました。

最初のプログラムは、それぞれの手作りによるクリスマスツリーとリースづくりです。

小さな幼児たちは保護者の方と一緒に、小学生は自分の創造力を信じて作品作りに没頭し、出来栄は写真のとおりとなりました。

次は番号札や古新聞紙を使ったゲームです。古新聞紙を使ったゲームでは、折り紙のように古新聞紙を折って、それを思い切り振り落とすとパーンと音がはじける遊びです。

このパーンの音を童謡の節目に合わせ鳴らしながら歌うので俄然盛り上がりました。

次はリズム遊びです。キーボードの演奏に合わせて子供たちがカスタネットや手拍子でリズムをとりながら踊る遊びで、会場の窓ガラスが割れんばかりの大音響で大いに沸き上がり最高潮に達しました。

ここで、お待ちかねのサンタさんの登場となります。

サンタさんは、子供たち一人々の名前を読み上げ、お菓子や学用品などが入ったクリスマスプレゼントを贈呈しました。子供たちは、皆はち切れんばかりの笑顔を振りまきながら自分が作ったクリスマスツリーやリースを大事そうに紙袋に入れてもち帰りました。

当日、ボランティアとして運営のお手伝いをさせていただきました子どもふれあい部及び福祉委員会の皆様方、会場の警備や買い物などに奔走された役員の皆様方本当にありがとうございました。



令和7年度の自治会役員について

令和7年度の自治会役員（予定者）については、下表のとおりです。

正式決定は、総会での承認後となりますが、自治会運営について本年度同様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会長	播磨 清	広報委員長	川越 恵
副会長	加部 望	会館委員長	吉田 幸江
事務局長	洞下 一栄	防犯委員長	永江 守
会計	原 豊	環境衛生委員長	坊作 文彦

※ 会長は2期目で継続

※ デジタル委員会は、専門スキルが求められ人材確保面から役員から外すこととします。（規約改定を総会にはかります）